

# 昭和から平成、そして令和へ——ポストウルースの時代を越えて

主催 **ミサワホーム株式会社 Aプロジェクト室** | 企画・監修 **大島滋** [Aプロジェクト室 室長] <http://www.a-proj.jp> | Aプロジェクト | 検索

お問合せ先 | **ミサワホーム株式会社 Aプロジェクト室** [tel: 03-3349-8073 | e-mail: A\_Project@home.misawa.co.jp] | 受付時間 | 10:00-18:00 | 定休日 | 土・日・祝



**内藤 廣** | 建築家・東京大学名誉教授。1950年生まれ。早稲田大学大学院修士課程修了後、フェルナン・ド・イゲラス建築設計事務所(スペイン・マドリッド)、菊竹清訓建築設計事務所を経て、1981年内藤廣建築設計事務所を設立。2001-11年東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻において教授、東京大学にて副学長を歴任。主な建築作品に、海の博物館、安曇野ちひろ美術館、牧野富太郎記念館、島根県芸術文化センター、静岡県草薙総合運動場体育館、富山県美術館、とらや赤坂店など。近著に「検証 | 平成建築史」内藤廣+日経アーキテクチュア(日経BP社)がある。



**平野利樹** | 建築家。1985年生まれ。2009年、京都大学建築学科卒業。2012年、プリンストン大学建築学部修士課程修了後、Reiser + Umemoto RUR DPC(ニューヨーク)2012-2013年勤務。2016年、東京大学建築学専攻修士課程修了。2013年より東京を拠点としてToshiki Hirano Designを主宰する。同年よりJapanese Junctionデレクターも務める。2017年より東京大学建築学専攻助教。受賞歴にSuzanne Kolarik Underwood賞(プリンストン大学修士設計最優秀賞)など。作品として「Ontology of Holes」(2016年、山本現代展示)など。著書として「a+u」2017年5月号 米国の若手建築家(ゲスト編集)など。http://toshiki-hirano.com



**仲山ひふみ** | 1991年生まれ。批評家。主な寄稿に「ポスト・ケージ主義」をめぐるメタ・ホレミックス(青土社、「ユイカ」2012年10月号)、「聴くことの絶滅に向かって——レイブラシエ論」(青土社、「現代思想」2016年1月号)など。手売り限定の批評誌「アーギュメント」#3(2018年6月)を黒奇想とともに責任編集。現在、東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻修士課程に在籍中。実験音楽や現代アートを対象とした批評活動に加えて、近年は思弁的実在論や加速主義などの現代哲学の最新動向の紹介に努めている。

MISAWA

A\*PROJECT



MISAWA HOMES  
A\*PROJECT  
LECTURE SERIES

24

SYMPOSIUM

HIROSHI NAITO      FRIDAY,  
TOSHIKI HIRANO      17 MAY 2019,  
HIFUMI NAKAYAMA      19:00-21:00

**政治・社会** ● 冷戦終結 ● EU ● インターネット ● 9.11 ● フィルター・バブル ● BREXIT ● トランプ ● ポストウルース ● 震災 **哲学・思想** 情報 ● 記号 ● 実在 ● オブジェクト ● モノ ● 不気味さ ● 怪奇 ● 思弁的実在論 ● 加速主義 **建築** デジタル ● シングル・サーフェイス ● パラメトリック・デザイン ● 切断 ● 連続 ● オブジェクト ● モノ ● コミュニティ **アート** スーパーフラット ●

Vaporwave

SYMPOSIUM

● 昭和から

● 平成、

● そして令和へ →

● ポストウルースの

● 時代を

● 越えて

● シンポジウム

**日時** ● 2019年 ● 5月17日 ● 金曜日 ● 19:00-21:00 **場所** ● 新宿NSビル

● 16階 ● インテリアホール **登壇者** ● 内藤廣 ● 平野利樹 ● 仲山ひふみ